

幕別保育所でお遊戯会

十一月十九日に、幕別保育所の良い子たちが、楽しいお遊戯の会を町民会館で開きました。

多くのお父さん、お母さんの前に出て、ちよっと、はさかしそうにした良い子もいました。お遊戯や舞踊劇を、たいへん上手に披露し、盛んな拍手を受けました。

写真はお遊戯のひとつま

地方自治法施行記念

一日町長・一日課長

地方自治法が施行されて、ことしで満二十周年目にあたりますが、この二十周年を記念して、去る十一月十七日に町内の青年団員、婦人会員の方々を一日町長、一日課長に委嘱、役場の仕事および町内の施設を見てもらいました。

この日の午前九時、中島町長から一日町長、一日課長を委嘱する辞令が渡されたあと町長および課長の席に坐り、各係から提出した書類に決裁しました。

こののち、緑町団地、給食

センター、町営育成牧場などの施設を視察し、最後に、町理事者、各課長と懇談会を持ち有意義な一日を終えました。なお、一日町長、一日課長の仕事ぶりの写真は、六面に掲載してあります。

白人・萬代橋完成

工事を進めていきました白人橋が十月十四日に完成しました。橋長は九十六呎、有効巾員五・五十呎の永久橋です。

一方、十一月八日には一般道々豊頃・糠内・芽室線に架橋中の萬代橋(糠内)が完成、十五日に渡橋式Ⅱ写真Ⅱを開催しました。橋長四十四・二十呎、巾員八・五十呎の永久橋です。



洩れている方はお知らせください

町教育委員会では、明
春入学児のお名前を調
べております。



町教育委員会では、明年四月
に小学校へ入学する児童名を、
住民票から調査いたしました。
各学校別の入学予定児童名は次
の通りとなっておりますので、お
宅のお子さんのお名前を確かめ
てください。もし、見当らない
場合は、町民会館内の教育委員
会に、ご連絡ください。
なお、明年の入学児童は、昭
和三十六年四月二日から三十七
年四月一日までに生れた者とな
っています。これら入学児童の
健康診断および知能検査を、一
月から二月にかけて実施します
お子さんの日程は、直接連絡い
たします。指定の日を忘れない
よう、お願いいたします。

幕別小学校

勝山ゆかり、小林政次、二川聖子
米沢 新治、鈴木玲子、竹田健二
戸田 一義、池下靖子、辻 典雅
上遠野紀子、上田育子、木口邦彦
坂口久美子、木川路代、齊藤 剛
佐藤 文美、杉野智恵、二瓶政幸
保田 正明、松井広子、佐藤忠雄
田下 弘樹、猪又秀美、堀江 均
寺島美奈子、角田貴子、秋田 治
玉置 喜文、土井芳江、国枝 司
大橋 広志、佐藤 一、高島恵樹

土井 裕治、中上正美、林 隆則
井上 直美、稲葉弘明、本田 守
岡本加奈江、大越祐子、金沢良次
加瀬谷聖二、郷 典代、畑山裕之
佐々木将博、近石 亘、服部利雄
常山美穂子、吉岡律子、中村 隆
有瀬 重光、林 秀憲、前川 悟
牛尾 勝美、木村芳美、近藤典生
伏見 政司、笹井 繁、林 鋭治
山本 賢二、油谷浩孝、福島美幸
小岩富美江、伊藤尚之、熊田良見
長谷川秀美、鈴木敏恵、平野和紀
北原由紀枝、藤原里司、池田隆幸

鎌田 裕一、高橋一恵、西岡直美
宗広 和子、小野好江、貴戸順子
笹島 喜郎、及川智子、伊勢健二
菊地 幸蔵、木野勝仁、小山麗子
武田 一成、樋口利広、宮垣直彦
山田 穂積、岡田智里、川田雅博
高井 典子

糠内小学校

内田八寿儀、酒井公一、鈴木和博
今江むつみ、小林良子、杉山静子
宮本 順一、山田郁子、中田輝幸
美濃 英俊、山田敏明

相川小学校

塚本 正樹、林 睦子、渡辺真弓

西猿別小学校

山崎 進哉

新和小学校

内野 澄男、山口 隆、金武京子
筒淵 秀美、細谷地泉、池上好子
横山 清昭

南勢小学校

小笠原秀則 千葉敦彦、長谷川剛
福島 里子

新川小学校

伊藤 昭裕、棚裕次郎

大豊小学校

橋本貴美子、土居直子、坂口 享
長谷川典子

豊岡小学校

須田 和子、島 雅子、藤原 昇

明倫小学校

秋元 朱美、井村広美、小林 悟
小林 正恵、前川澄枝

中里小学校

佐藤 正美、杉本健一、鈴木克則
矢竹とみ子、田村静夫、山田浩幸
吉田 富子

美川小学校

伊藤いつ江、森美智子、細川孝子
佐久間晴彦、大木和恵、小林 恵

駒島小学校

菅野はま子、沢田秀一、村田敦子
金子奈緒美、高島正夫、新田 務
高橋富美子、本保良子

弘和小学校

斉藤 孝之、山田 広美

古舞小学校

前田智恵子、速水 徹、沢田直美
松田あけみ、佐藤裕幸、佐藤津香
佐藤美由紀、中村勝行、合田敏子
井村 剛、久保英孝

昭和四十二年の暦

「広報まくべつ」より

昭和四十二年も残すところ僅
かとなりました。この四十二年
の最も大きな喜びは町の基幹
産業である農業が豊作であった
ということでしょう。このほか
いろいろな出来ごとがありました
たが、広報まくべつに登載した
主な出来ごとは次の通りです

▲一月▼

一日―国民健康保険七割給付
五日―町消防団出初式、十五日
―成人式挙行、二十九日―衆議
院議員選挙、最高裁判官国民密
査執行

▲二月▼

二十四日―豆作り講習会開く

▲三月▼

一日―幕別・豊頃学校給食セ
ンター開所、四日―十勝教職員
研修センター落成式、十三―二
十日―予算町議会開催、三十一
日―農地報償金請求期限締切日

▲四月▼

一日―幕別市街公区の区域改
正、札内出張所が支所に昇格、
農協連の種畜牧場業務開始、十
五日―知事・道議会議員選挙執
行、二十八日―町長・町議会議
員選挙執行、初の即日開票

▲五月▼

十二日―改選後初町議会開く
二十五日―乳牛育成牧場入牧を
開始。

▲六月▼

一日―町役場で大巾な人事異
動、二十日―中島町長、北海道
町村会副会長に当選

▲七月▼

六、七日―町内初の移動保健

途別小学校

加藤真由美、河合千晶、高橋行雄
 沢田紀代美、高橋直久、西田均
 白木美千子、広瀬和子、白木裕美
 藤川ひろみ、坂田雄一、高階和子
 牧野まり子、松田純子

白人小学校

一月十五日に成人式

明年の成人式は一月十五日に町民会館で開催されます。該当者全員のご出席を、お待ちしております。ところで、今までの成人式はその年で成人に達する方全員を対象として式典を開催しましたが、明年からは一月十五日現在で満二十歳になる方のみを対象とするこ
 とになりました。現在、対象者は次の二十四名で、もし、洩れている方がおりましたら、町教育委員会に、ご連絡ください。

△男子▽

伊賀 政司、田中弘己、桜井正己
 松田 忠義、酒井利男、井上雅雄
 田辺 康一、西村清一、佐藤 正
 牧野 孝澄

△女子▽

榎本まり子、那須亮子、佐藤正子
 山越ミチ子、星 敬子、七条玲子
 木村ユキ子、平井美代子、大西美

久保田千恵、早苗利博、設楽幸司
 中村 秀喜、森原勇彦、森 道子
 田辺 忠幸、時田清美、山口洋子
 浦田 盛司、成田 繁、中山典子
 小田島美幸、野原恵子、菱原明美
 小池美喜子、小泉昌生、高田祥子
 齊藤貴久恵、守屋幸雄、五島 透
 塚本真美子、土門 薫、森 智子
 矢野美佐子、福田弘美、渡辺明子
 代子、竹内志津子、砂田信代、島
 田京子、早苗みちえ、佐々木久枝

篠原 雅人、広瀬明美、芥 浩司
 浦滝真由美、後藤邦子、佐藤政弘
 上鹿渡幸江、佐藤友子、佐藤洋子
 谷原 明美、野沢 実、松島 緑
 渡部ひとみ、梅田直人、大塚典行
 市村 敏一、貝森 司、今野 光
 工藤 節子、郷 靖治、山本 昇
 佐藤 弘文、後藤政敏、西島 明
 松野ひとみ、相川珠樹、小林明美

鈴木 勝夫、中村幸寛、中村久恵
 影山裕美枝、小幡勝宏、河合俊次
 金田 恭之、久保光枝、倉しのぶ
 鈴木 裕史、多田純子、東野曉美
 平山 秀也、松田和男、青山淳一
 青山 良江、伊藤栄子、勝山真理
 加藤 晴美、菊地 修、北村千智
 大矢 伸一、沢井 誠、真野 齊
 由水 公彦

自治講習所生を募集

北海道自治講習所では、昭和四十三年度の講習生を募集しております。募集人員は六十名、講習期間は一年間で、受験資格は高等学

全道園芸作物共進会 好成績おさめる

全道園芸作物共進会が十一月八

校または旧制中学校を卒業し、将来、市町村職員になろうとする者となっております。詳しくは町役場総務課におたずねください。

九の両日、帯広市民会館で開かれ、長いもので北川勝治さんが市長賞を獲得するなど、好成績をおさめました。

△長いもの部▽ 市長賞一位―北川勝治、一位―北川辰雄、二位―大前信義、三位―脇坂利治。
 △白菜の部▽ 二位―平山寿一

町青少年問題協議会では、去る十一月二日、子供たちが明るく素直に育っていくように、という願いから、次のようなことを相談しました。冬休みを控え皆さんのご協力をお願いします

子供たちが明るく 素直に育つように

町青少年問題協会で相談

1 現在の子供たちは、特に小学校高学年から中学生にかけて、肉体的には驚異的な成長をみせています。しかし、肉体的な成長と平行した精神的（物の考え方など）成長を期待することは無理なことです。

2 立派な社会人に育ってもらうためには、厳しいうちにも温い理解と愛情のこもった大人の指導が絶対に必要である。

3 肉体的ハケ口の場としての施設が必要ではないか。

4 社会全体の責任であるという意識をたかめるため、親た

5 青少年を励まし導く標語を設定し、地域ごとの掲示と家庭への配付を考えよう。

6 家庭の魅力をたかめよう（明るい家庭造りのため、家庭内の団らんを進めよう。一家揃って遊べるような、楽しい遊びをみんなで考えよう）

7 スポーツ少年団、地域子ども会の積極的な活動を進めるための町費の助成を要望しよう。

所を開設、二十五、六日一種馬二才馬十勝共進会で両種目とも団体優勝。

△八月▽

一日―札内支所で諸証明を発行、十三―十七日―町商工まつり賑わう、十六日―札内支所昇格祝賀会開く、二十六日―美川などでひょう書うける、二十七日―町民運動会を開催

△九月▽

十二日―エタロン号顕彰碑除幕式、農協創立二十周年記念式典開催、十三日―糠内開拓七十年記念式開催、十四日―日新道路改良工事完成、十五日―芝木栄治農業委員会会長死去、十七日に葬儀、幕別町史完成、十七、十八日―白人小学校開校七十周年記念式典開く、全道婦人大会開く、二十九日―町史編さん委員会解散。

△十月▽

一日―自治功労者表彰式を開催、あきあじ祭り開催、二十日―幕別小学校開校六十二周年記念式典開く、三十一日―第二回交通安全町民大会開く

△十一月▽

一日―公民館まつり始まる、帝織物産開業、町の健康優良乳幼児表彰、二日―母と子のコンクールで金谷寿生ちゃんが北海道一となる、三日―笹島喜八郎氏に勲五等瑞宝章、七日―地方自治法発布二十周年を記念一日町長、一日課長を開催、十五日―一般道々豊頃・糠内・芽室線地内萬代永久橋の竣工式を挙行、十九日―幕別中学校開校二十周年記念式開催。

引揚者特別交付金を支給

去る11月17日に、支給についての説明会を開きましたが、説明会においてにならなかった方もあろうかと思っておりますので、ここで大略ご説明いたします。更に詳しく知りたい方は、厚生課町民福祉係におたずねください。

三月三十一日までに、また、昭和四十二年四月二日以後に引き揚げた方は引き揚げ後二年間以内に、各種の添付書類を揃えて町役場に提出ください。

引揚者本人の場合

終戦後の引揚者 ①外地に終戦日まで引き続き一年以上生活の本拠をもっていて、同日以後引き揚げた人②ソ連参戦の関係で樺太、千島、華北、内蒙、満州、関東州朝鮮などから昭和二十年八月九日以後、終戦日前に引き揚げた人③終戦前に出張、商用などで本邦に来て滞在中、終戦のため外地へもどれなくなった人。

①のような最も普通の場合の引き揚げ者が対象になりますが特例として②または③の場合も請求できます。

戦争中または戦前の引揚者

①南洋群島(もとの日本委任統治領)に昭和十八年十月一日まで引き続き一年以上生活の本拠をもっていて、同日以後、終戦日前に引き揚げた人②一フイリピン諸島に開戦日まで引き続き一年以上生活の本拠をもっていて、昭和十九年七月一日以後、終戦日前に引き揚げた人。二・英・英領地域、濠・蘭・印・米・加・中南米などに開戦日まで一年以上生活の本拠をもつ

本町内にも、戦後、多くの方々が外地から引き揚げてまいりましたが、以下、大略を説明いたしますので、請求期限の昭和四十五年

開校二十周年式実施

幕別中学校

幕別中学校の開校二十周年記念式が、十一月十九日に同校屋内体育館で開かれました。

昭和二十二年五月一日、戦後の学制改革によって幕別、白人、糠内、古舞、駒島の五中学校が開校式をあげました。当時は、何れも

ていて、終戦日前に引き揚げた人三―もと蘭領東印度諸島、英領マレイ半島または英領ボルネオに昭和十六年八月一日まで引き続き一年以上生活の本拠をもっていて、同日以後、終戦日前に引き揚げた人。

この一、二、三に該当する場合であっても「日本政府または日本国内に主たる事業所を有する法人その他の団体の命令によって」それぞれの地域に勤務していた職員および家族は除外されます。ただし、特殊な事情によって、例えば語学ができるから、という理由で勤務し、引き揚げによって当該職員としての身分を失うにいたった人は請求できます。

引揚者の相続人 引揚者が死亡し、まだ請求をしていなかった場

校舎はなく、小学校の教室を貸りて授業をおこないました。

独立校舎は、幕別中学校が最も早く、開校の年の八月十二日に二百五十二坪が完成しています。二十年後の現在は、階下だけで九百七十二・七坪(三千二百十二・五五平方尺)、二階を含めると千四百六十・五二坪(四千八百二十八・四七平方尺)と、開校当時の五倍強に充実しております。

合には、その引揚者の民法上の相続人が、自分の名前で請求書を出すことができます。

遺族の場合

遺族 遺族とは死亡者の死亡当時における①配偶者②子③父母④

年令算定日は引揚者の終戦日時 (20.8.15)

引揚者		遺族	
年令	金額	年令	金額
50歳以上	160,000	50歳以上	112,000
95~50未満	100,000	95~50未満	70,000
25~95未満	50,000	25~95	35,000
20~25未満	30,000	20~25	21,000
20未満	20,000	20未満	14,000

孫のことで、請求できる順も、この番号順です。ただし、配偶者、子または孫であっても、請求できない場合がありますので、町役場におたずねください。

①引き揚げ前死亡者の遺族―引き揚げをはたさずに外地で死亡した人の遺族のことです。②引き揚げ後死亡者の遺族―引き揚げ後、昭和四十二年七月三十一日以前に死亡した人の遺族のことです。

遺族の相続人 昭和四十二年八月一日以後に遺族が死亡し、まだ請求していなかった場合には、その遺族の民法上の相続人が、自分の名前で、その死亡した遺族の分の請求書を出すことができます。なお、支給される金額は上の表の通りです。

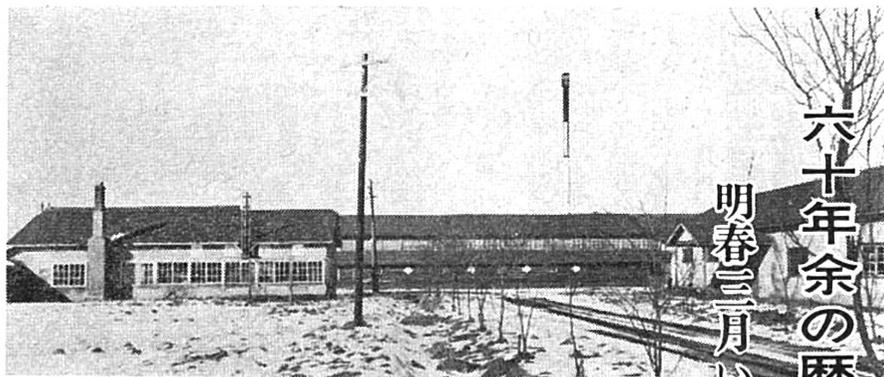


写真は祝辞をのべる中島町長

六十年余の歴史に終止符

明春三月いっばいで解散

亜麻会社



亜麻の需要が増え、昭和十四年には止若に第二工場を建設して操業をはじめるとなると、発展の一途をたどりました。

戦後の二十四年、経済力集中排除法にもとずき、帝国製麻を東邦レーヨン、帝国製麻、中央繊維の三会社に分割、幕別・止若工場はともに中央繊維に属した。

幕別の亜麻工業の歴史は、猿別に工場が設けられた明治三十九年にさかのぼりますが、この歴史ある亜麻工業も、明年三月末をもって終止符をうつことになりました。

明治三十九年、北海道製麻株式会社は、猿別の地に工場を建設翌四十年には、日本製麻と合併、新社名を「帝国製麻株式会社」とし、以来、順調に発展をみせました。特に、支那事変の発生以来、

一日から発足しました。

新会社は「帝織物産株式会社」といい、本社を幕別町におき、札幌と富良野に営業所を、本別と芽室に駐在所、標茶に連絡所を置いていきます。

営業品目は第一営業部が帝織本社の繊維製品のほか、肥料、農業農業資材、建材、プロパンなどの第二営業部は重油ストーブなどの暖房器具、焼却炉、電気器具、家庭用ボイラー、温水機、洗罐、配管その他を扱い、今後に期待されております。なお、新会社のスタッフは次の通りです。

△社長 佐々木悦太郎△常務取締役 林良夫△取締役 田中勉△営業総務課長 鎌田義雄△第一営業課長 佐藤隆△第二営業課長 上戸正三

写真はムーラン作業。この作業も、あと僅かで見ることが出来なくなりました。



皆さんの意見を町政に反映

町行政相談協議会が発足しました た どしどしご相談ください

寿町の加藤銀市郎さんが本町内を担当とする行政相談委員として国の行政にたいする苦情、相談、意見をそれぞれ処理してまいります。町政にたいする要望その他を申し入れる機関がなく、町民の皆さんの中には、不便を感じているところと思います。そこで、町では、各界の方々と相談いたし、このほど「町行政相談協議会」を設立いたしました。

加藤さんが委嘱されています行政相談委員は、主に国、道の行政にたいする苦情その他の解決が主となっております。稀には町にたいする要望もありますが、あまり活発なものではありません。最近、広聴活動の重要性が次第に認識されつつあります。広聴とは、広く住民の意見を聞き、これらの意見、要望を、国政、道政、町政のうに反映させるもので、町行政相談協議会は、広聴活動の一つ、といえましょう。町行政相談委員は町長が委嘱し委嘱されました委員は、広く町民の皆さんの意見、要望、苦情を聞き、定期的に開かれます会議で皆さんの意見その他を町に申しつけ、町長は、これら問題を更に調査のうえ、解決または町政に反映させることになってまいります。

- 町長が委嘱しました委員は次の方々で、会長には藤平清志さんが互選され、発足しました。委員は各界の方々をもって構成しましたので、町にたいする要望その他はお近くの委員さんにご相談ください。
- 会長 藤平清志
 - 副会長 東 信盛
 - 監事 矢野幸作、吉村康一
 - 委員 佐藤一馬、大石忠夫、長尾所縁、中寺常次郎、浦箕正市、美濃政市、菊山茂、石田勝、上田菊一、谷地田豊四郎、山田栄、湊良三郎、加藤銀市郎、一宮四枝。

たばこは町内から買います。

堂々たる一日町長 と一日課長

その仕事を写真
でご覧にいます



写真説明

- ① 浅野若子町長の決裁風景。本物の町長に指導を受け、一瞬緊張を求めました
- ② 大島トミ子総務課長は係の説明を求めました
- ③ まず納税者数の把握からと、内野兼義税務課長
- ④ 係の説明を求め、ファイト満々の一宮四枝厚生課長
- ⑤ 当面する諸問題について説明を聞く富谷允宣産業課長
- ⑥ 建設課各係の分掌

- 事項に目を通す吉島昌博建設課長
- ⑦ 教育は町政のうちで最も重要と張切る高橋雪子教育長
- ⑧ 目黒節子給食センター所長は、衛生的な給食施設に満足そうでした
- ⑨ 良い子たちに囲まれて、お遊戯会の練習ぶりを見る高田高枝幕別保育所所長
- ⑩ 元気に育ってくださいと、幼児の胸囲を計る楠俊子母子センター所長。

一位は篠原さん

町内中学校弁論大会

代表十二名が参加し、何れも中学生らしい若々しさ、考え方、見方を盛りこんで熱弁を振り、次の五名が入賞しました。

幕別町教育振興会主催、町青少年問題協議会、町保安協会、町交通安全推進委員会、町交通安全協会後援の「町内中学生弁論大会」が、去る十月二十八日に白人中学校体育館で開かれました。

- 一位 明るい環境づくり 篠原典子（白人中学校）
- 二位 物を大切に 西田幸司（途別中学校）
- 三位 中学生のあり方 高橋政弘（幕別中学校）
- 四位 中学生の友情 早津善行

五位 学校生活の思い出 堀田淳子（古舞中学校）

近火ご見舞ありがとうございました

十二月一日

町立母子健康センター
帯広警察署幕別巡査部長派出所

寝たばこは危険

焼死事故が増加傾向

火の元を点検しましょう

寒さが一段ときびしくなってきた。この寒波に輪をかけるように火災も増加の傾向を示し、お隣りの帯広市では焼死者まで出しました。また、全道的にみましても、ここ数年

年来最悪の事態になるのではないかと、予想されております。

町消防団では、年末、年始に火災が発生しないよう、特別警戒態勢に入っております。町民の皆さんも、次の点に注意して火災を起さないようにしましょう。

- 外出前、就寝前の火の元点検の励行
- たばこの投げ捨て、寝たばこの防止
- プロパンガスの安全使用の徹底
- 老人・幼児・子供・病人などの安全な居室、寝室の確保
- 消火器具の確保
- 非常口の確保

なお、今後かなりの降雪も考えられ、郡部の火災にはポンプ車が

歳末たすけあい募金にご協力ください

私たちの身の回りには、生活に困っている人たちや身よりのないおとしりなど、気の毒な方がた

たくさんいます。町社会福祉協議会では、これらの気の毒な方々が、みんなそろって明るいお正月を迎えられるようにと、ただいま「歳末たすけあい町民募金」を実施しています。募金目標額は一戸あたり五十円

特賞はジェット機で空の旅

十一日から 全十勝連合で年末大売出し

北海道商工会連合会十勝支部では、来る十一日から三十一日まで、の間、全十勝連合の年末大売出し

で、十二月十五日までに、各公区ごとに町役場、支所、出張所にお届け願うことになっていきます。町民みんなで明るいお正月を迎えられるよう「歳末たすけあい町民募金」にご協力ください。

を実施することになりました。今までは、各町村ごとに大売出しを実施していましたが、どうしても内容の魅力がとぼしく、今回は管内十九カ町村の全商工会が参加して実施することになりました

この結果、十勝管内であれば他の町村の抽せん券で、本町内で抽せんすることができ、また、本町の抽せん券で他町村において抽せんすることができると、内容が

- 一段と充実いたしました。連合大売出しのあらましは次の通りです
- 一、売出し期間 十二月十一日から三十一日まで
- 二、抽せん券 お買上げ五百円ごとに本券一枚、百円ごとに補助券一枚
- 三、抽せん期間 十二月十八日から翌年一月三日まで。ただし一月一、二日は除く
- 四、抽せん場 幕別、札内、糠内の各市街
- 五、賞品 各組ごと(一万本一組)
- 特賞 ジェット機で空の旅 招待(京都、大阪、奈良)
- 松賞 電気毛布 三本
- 竹賞 シーツ 四十本
- 梅賞 ヘアブラシまたは石けん 三百本
- 残念賞 キャラメル

郵便局たより

郵便貯金増強運動 郵政省ではただいま明年一月三十一日まで「年末年始郵便貯金増針運動」を展開しております。

ご承知のように、郵便貯金は国の財政投融資計画の重要な原資として、住みよい町づくり、国づくりのため、各方面から期待されております。一方、明るく健全な家庭を築くためにも、必要欠くべからざるものであります。

年末、年始は、一年中で最もお金の動きがはげしく、また、無駄な消費も少なくない月であります。どうか、国のため、家庭のためになる郵便貯金にご協力くださるようお願いいたします。

年賀状は早目に 年末には年賀状など各郵便物が一時に出まわり場合によっては小包の年内、年賀状の元旦配達の間にあわなくなることも考えられます。年賀状、小包は早目にお出しください。

盛大でした 笹島さんの叙勲祝賀会



写真は受章祝賀会の笹島さんご夫妻

本紙十一月号でお知らせしましたが、秋の生存者叙勲で札内の笹島喜八郎さんが勲五等瑞宝章を受けられた。十一月二十八日午後一時から、中島国男(町長) 婦山茂(議長) 矢野幸作(教育委員長) 一宮龍熊(消防団長) 上田菊一(商工会長) 角田政平(友人代表)の皆さんが

スリやサギにご注意

警察では特別警戒に入りました

あわただしい年の瀬がやってき

ました。この時期には、いろいろな

事故とともに犯罪も多くなつて

きます。警察では、みなさんが安

心して越年できるようにと、全力

をあげて「特別警戒」をしており

ます。みなさんも明るく楽しい正

月を迎えるため、次のことからに

気をつけましょう。

■年末は、何かと用事がふえ、

留守がちになります。わずかな間

でも戸締りを、しっかりするとと

もに、隣近所に留守番をお願いし

る十一月二十六日から開館いたし

図書館が開館しまし

たご利用ください

町教育委員会では、かねてから
町民会館内に図書館を設け、図書
の整理をすすめてきましたが、去



ておきましょう。

■バス・列車・デパートなど人

ごみのところは、スリのかせぎ場

所です。持物や懐中物に、じゅう

ぶんど注意ください。

■預金や払いもどしのため、金

融機関へ出入りするのを、スリや

ひったくりが狙います。婦女子や

老人は、できるだけ、さけるよう

にしたいものです。

■年末の気せわしさに、つけこ

むのがサギです。市価より安い、

最高の品物だ、お宅のご主人に頼

る十一月二十六日から開館いたし
ました。

現在、図書館には文学書のほか
自然科学、歴史などの専門書が約

千六百冊あり、今後とも充実して

いく方針ですので、多数のご利用

をお待ちしております。

なお、図書館を利用できる日は

日曜日と水曜日で、何れも午前十

時から午後四時まで。館外持出し

は係員の許可を受けてください。

館内では、他の人の読書のさまた

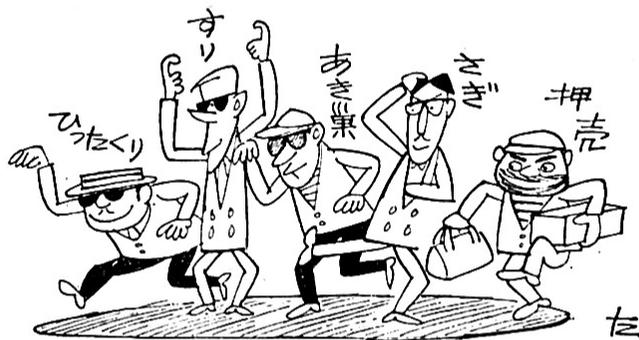
げにならぬよう、静かにご利用く

ださい。

まれた、など、うまい話でつり込
みます。よくよく確かめてからに
して、だまされないようにしまし
よう。

■大金をカバンやハンド・バッ
クに入れ、暗い道を歩いたのでは
「ひったくり」が喜ぶだけです
明るい表通りを歩きましょう。

歳末5人男



速度制限や駐車禁止

新しく交通規制がされ
ました お守りください

釧路方面公安委員会から幕別町
内に次のとおり交通規制がされま
したので、お守りください。

△速度制限V時速四十キ

幕別町本町百九番地の一の先か

ら南町二十八番地先まで。千百

二十キ。

幕別町字相川五百七十六番地先

から新町八十七の一番地先まで

千三百四十三キ。ただし止若橋

の橋上は時速三十キ。

△駐車禁止V

幕別町幸町六十八番地先から旭

町九十七番地先までの両側。午

前八時から午後八時まで。

△一時停止V

幕別町本町百九番地の一の先

原則として給付せず

交通事故の被害を受

けた国保被保険者

国保被保険者が交通事故の被害
を受けた時は、原則として保険給
付を行いません。また、被害を
受けた時は次の様に処理されま

す。加害者は、責任の度合いに応

じて損害賠償を行なうので、原

則として給付は必要としない。

被保険者が事故で被害を受け

た場合は、必ず示談書を作成

し、双方で所持すること。

示談が成立しなかったり長引

いた時は国保で治療を受けるこ

とが出来ます。これは国保で一

時立替える形式で、後日、医療

費を加害者に請求します。

国保で治療した場合は、示談
成立、不成立にかかわらず、傷
病届を町に提出ください。示談
が成立していれば示談書も提示
ください。なお、自己の不行跡
による傷病は、総て自己負担と
なります。

古舞東一納税組合 が完納 農村側第一号

古舞東の一納税組合（小川
邦正組合長）では、組合員一
同の協力によって、去る十一
月十日に町税を完納、農村側
連続五か年間完納第一号とな
りました。

町税の納期限は「12月15日」です

12月15日は町税第3期分の納期限となっております。すでに完納された納税貯蓄組合もありますが、ことしこそは、町税100%完納を達成いたしたいものです。町民の皆さんのご協力をお願いいたします。